

医科学（3年）

責任者・コーディネーター	口腔医学講座（関連医学分野）千葉 俊美 教授					
担当講座（分野）	口腔医学講座(関連医学分野)、医学部各講座					
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習		
期間	通期		前期	28.0時間	—	
			後期	28.0時間	—	

学修方針（講義概要等）

3年次で症候学および内科各疾患、外科学総論、神経精神疾患について学ぶことを目的とする。これまで講義および実習で得た基礎医学の知識や経験を生かし、疾患の病態およびその対応について学修する。

教育成果（アウトカム）

歯科医師が必要とする医学的知識を症候学から代表的疾患まで網羅し、さらに外科学における観点も踏まえて医学的な基本知識の習得を目的とし、基礎専門科学目で学んだ知識をもとに、疾患の病態を考えることが出来る。

（関連するディプロマポリシー：4、8）

到達目標（SB0s）

1. 症候学、循環器疾患、糖尿病・代謝疾患、内分泌疾患、脳神経内科疾患、腎疾患、呼吸器疾患、血液疾患、脳血管疾患、消化器疾患、外科学における侵襲と生体反応、外科的感染症、ショック、周術期管理、滅菌・消毒、出血・止血、神経精神疾患、自己免疫疾患、胆膵疾患、感染症・院内感染について理解し説明できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

[事前学修] シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。
[事後学修] 講義資料や教科書等を用いて事後学習を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均50分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均50分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/8 (水)	2	千葉俊美教授 (口腔 医学講座関連医学分 野)	1. 内科学 内科診察の基本 症候学1	以下の項目について理解し説明できる。 1. 診察の手順について 2. 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下について [D-2-3] (口腔医学キーワード) 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	4/15 (水)	2	千葉俊美教授 (口腔 医学講座関連医学分 野)	2. 内科学 症候学2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 食思不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害について [D-2-3] (口腔医学キーワード) 食思不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。

講義	4/22 (水)	2	千葉俊美教授 (口腔医学講座関連医学分野)	3. 消化器疾患1	以下の項目について理解し説明できる。 1. 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃食道逆流症、炎症性腸疾患について理解し説明できる。 [D-2-3, A-3-1-7] (口腔医学キーワード) 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃食道逆流症、炎症性腸疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	5/13 (水)	2	石田大准教授 (内科学講座循環器内科分野)	4. 循環器疾患1	以下の項目について理解し説明できる 1. 循環器薬とその作用について理解し説明できる。 2. 高血圧、心不全について [D-2-3] (口腔医学キーワード) 循環器薬、高血圧、心不全 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	5/20 (水)	2	肥田頼彦特任講師 (内科学講座循環器内科分野)	5. 循環器疾患2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 心筋梗塞、狭心症について理解し説明できる。2. 大動脈、末梢動脈疾患の治療について [D-2-3] (口腔医学キーワード) 心筋梗塞、狭心症、大動脈・末梢動脈疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。

講義	5/27 (水)	2	大和田真玄准教授 (内科学講座循環器 内科分野)	6. 循環器疾患3	以下の項目について理解し説明できる。 1. 不整脈、感染性心内膜炎について理解し説明できる。2. 不整脈アブレーション治療について [D-2-3] (口腔医学キーワード) 不整脈、感染性心内膜炎、不整脈アブレーション治療 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	6/3 (水)	2	池田奈由非常勤講師 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 栄養疫学・政策研究センター 栄養社会科学研究室 室長) 講義形態: Web	7. 特別講義 人口レベルの非感染性疾患リスク評価	以下の項目について理解し説明できる。 1. 肥満や高血圧等の非感染性疾患リスクに関する国際疫学研究の動向と評価手法、世界におけるリスクの分布と推移および日本の特徴を理解する。 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 非感染性疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	6/16 (火)	5	石塚直樹講師 (内科学講座脳神経内科・老年科分野)	8. 脳神経内科疾患	以下の項目について理解し説明できる。 1. 主要な脳神経内科疾患 [D-2-3] (口腔医学キーワード) [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。

講義	6/17 (水)	2	千葉俊美教授(口腔医学講座関連医学分野)	9. 消化器疾患2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 食道癌、胃癌、大腸癌 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 食道癌、胃癌、大腸癌 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	7/1 (水)	2	内海裕助教(内科学講座 呼吸器内科分野)	10. 呼吸器疾患1	以下の項目について理解し説明できる。 1. アレルギーの分類、機序と代表的疾患、気管支喘息の病態、アナフィラキシーショックの病態 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 気管支喘息、アナフィラキシーショック [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	7/8 (水)	2	内海裕助教(内科学講座呼吸器内科分野)	11. 呼吸器疾患2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 気管支炎、肺炎、COPD、肺癌 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 気管支炎、肺炎、COPD、肺癌 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	7/15 (水)	2	千葉俊美教授(口腔医学講座関連医学分野)	12. 消化器疾患3	以下の項目について理解し説明できる。 1. 急性・慢性肝炎、肝硬変 [D-2-4] (口腔医学キーワード) 急性・慢性肝炎、肝硬変 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。

講義	7/22 (水)	2	千葉俊美教授 (口腔医学講座関連医学分野)	13. 胆・膵疾患	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 胆道疾患の主要な症候、病態 膵疾患の主要な症候、病態 <p>[D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 胆石症、胆道感染症、原発性硬化性胆管炎、胆嚢癌、胆管癌、急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵癌、嚢胞性膵疾患</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	8/19 (水)	2	千葉俊美教授 (口腔医学講座関連医学分野)	14. 腎疾患	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 腎疾患の主要症候と腎機能検査 腎・尿路系の主要な症候、病態、治療 (ステロイドを含む) <p>[D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 急性腎障害、慢性腎臓病、慢性腎不全、透析</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	9/15 (火)	2	西谷真来助教 (内科学講座血液腫瘍内科分野)	15. 血液疾患1	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 貧血、出血性素因、血友病、von Willebrand病、悪性リンパ腫 <p>[D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 貧血、出血性素因、血友病、von Willebrand病、悪性リンパ腫</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>

講義	9/25 (金)	5	瀬川利恵講師 (内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	16. 内分泌疾患	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 主要なホルモンの作用、下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患 [D-2-3, A-3-1-9]</p> <p>(口腔医学キーワード) 下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	10/6 (火)	2	松下祐助教 (神経精神科学講座)	17. 神経精神疾患	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 統合失調症、うつ病、双極性障害、アルコール・薬物依存症 [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 統合失調症、うつ病、双極性障害、アルコール・薬物依存症</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	10/13 (火)	2	石垣 泰教授 (内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	18. 糖尿病疾患	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 糖尿病の成因、病態、合併症と治療法について [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 糖尿病</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>

講義	10/13 (火)	3	石垣 泰教授 (内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野)	19. 代謝疾患	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 脂質異常症、尿酸代謝異常、肥満症の病態と治療法について [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 脂質異常症、尿酸代謝異常、肥満症</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	10/20 (火)	2	小宅達郎准教授 (内科学講座血液腫瘍内科分野)	20. 血液疾患2	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 白血病、造血幹細胞移植、AIDS [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 白血病、造血幹細胞移植、AIDS</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	11/10 (火)	2	柴田 近 非常勤講師 (東北医科薬科大学医学部 (外科学第一 (消化器外科) 教室) 教授)	21. 消化器疾患4 : 特別講義「消化管運動と消化管ホルモン」	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 消化管運動と消化管ホルモンの関係 2. 主な消化管ホルモンの作用 3. 消化管運動の仕組み 4. 消化管運動・ホルモンと疾患の関わり [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 消化管運動、消化管ホルモン</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>

講義	11/17 (火)	2	駒ヶ嶺正嗣特任講師 (内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	22. 自己免疫疾患1	以下の項目について理解し説明できる。 1. 関節リウマチ・膠原病など自己免疫疾患、自然免疫、獲得免疫(その1)。 [D-2-3] (口腔医学キーワード) シェーグレン症候群、ベーチェット病 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	11/24 (火)	2	藤本 穰教授(内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	23. 自己免疫疾患2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 膠原病など自己免疫疾患、免疫不全(その2) [D-2-3] (口腔医学キーワード) [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
講義	12/1 (火)	3	千葉俊美教授(口腔医学講座関連医学分野)	24. 脳血管疾患	以下の項目について理解し説明できる。 1. 脳内出血、脳梗塞 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 脳内出血、脳梗塞 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。

講義	12/1 (水)	4	千葉俊美教授 (口腔医学講座関連医学分野)	25. 感染症・院内感染	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 肺結核、感染症、菌交代現象、院内感染経路および院内感染防止対策 [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 肺結核、感染症、インフルエンザ、菌交代現象、院内感染</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	12/8 (火)	2	高橋宗康 非常勤講師 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授)	26. 特別講義 災害、保健政策、公衆衛生	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 災害における歯科医療の役割や、保健政策や公衆衛生についてについて理解し説明できる。 [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 災害、保健政策、公衆衛生</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>
講義	12/15 (火)	2	馬場誠朗講師 (外科学講座)	27. 外科学1	<p>以下の項目について理解し説明できる。</p> <p>1. 侵襲と生体反応、外科的感染症、ショック [D-2-3]</p> <p>(口腔医学キーワード) 侵襲と生体反応、外科的感染症、ショック</p> <p>[事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。</p>

講義	12/23 (水)	5	新田浩幸教授 (外科学講座)	28. 外科学2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 周術期管理、滅菌・消毒、出血・止血について理解し説明できる。 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 周術期管理、滅菌・消毒、出血・止血 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は50分程度。
----	--------------	---	----------------	-----------------	--

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	歯科医師のための内科学	千葉俊美, 山田浩之編	医歯薬出版	2021
教	Pocket Drugs 2026	福井次矢 監修、小松康弘他編	医学書院	2026
参	標準外科学 第17版	田邊 稔 監修、池田徳彦、大木隆生、猪股雅史、篠原 尚 編集	医学書院	2025
参	Internal Medicine for Dental Treatments	Toshimi Chiba, Hiroyuki Yamada, Editors	Springer	2024
参	イヤートート2024: 内科・外科編		Medic Media	2023
参	内科学(第12版)(分冊版)	矢崎義雄総編集	朝倉書店	2022
参	病気がみえる(各シリーズ)	医療情報科学研究所/編集	Medic Media	2018-24
参	標準精神医学第8版	野村総一郎 監修	医学書院	2021
参	シリーズまとめてみた精神科 第2版	天沢ヒロ 著	医学書院	2019

成績評価方法・基準・配点割合等

定期試験で評価する (100%)

*各講義数に応じた問題数による試験を実施する

到達目標	DP	定期試験	その他	合計
1	4、8	100		100
合計		100		100

特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等)

特記事項なし

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有 (大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う)

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
デスクトップパソコン一式	EliteDesk 800 G5 SF/CT	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料作成用